# 平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

| 整理番号 | 9 ― 48 |
|---|---|

## 1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 漁業経営健全化促進資金利子補給事業 | | | | | |
| 評価者 | 担当課名 | | 産業振興課 | 担当係名 | | 水産係 |
| | 管理職 | 職名 | 課長 | 作成者 | 職名 | 係長 |
| | | 氏名 | 石井　弘道 | | 氏名 | 中村　文隆 |
| 事業の概要 | 漁業用燃油、資材高騰等により厳しい経営環境にある中小漁業者の資金繰りを円滑にするため、借換資金を融通する金融機関に対し利子補給を行い、漁業経営の安定化を図る。 | | | | | |

| 全体計画（平成 22 年度～ 24 年度） | | |
|---|---|---|
| 事業費 | 国・道支出金 | 千円 |
| | 地方債 | 千円 |
| | その他 | 千円 |
| | 一般財源 | 827 千円 |
| | 事業費計 | 827 千円 |

| 実施方法 | □ 直営 | □ 民間委託 | ■ その他（　　） |
|---|---|---|---|

| 第 5 期 総合計画（前期） | ■ 登載事業 | □ 非登載事業 | 優先度 | A |
|---|---|---|---|---|

| 事業の位置付け | | |
|---|---|---|
| 政策目標 | 1 | はつらつ・雄武～地域産業の振興～ |
| 基本施策 | 3 | 水産業の振興 |
| 単位施策 | 2 | 経営基盤の強化 |
| 事務事業の種類 | ■ | 自治事務　□ 法定受託事務 |
| その他計画・根拠等 | | 雄武町漁業経営健全化促進資金利子補給金交付要綱 |

| 事業費 実施年度 | 20年度（実績） | 21年度（実績） | 22年度(実績) | 23年度(見込) | 24年度(計画) |
|---|---|---|---|---|---|
| 国・道支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 雄武町負担額（一般財源） | 千円 | 千円 | 256 千円 | 288 千円 | 274 千円 |
| 合計 | 千円 | 千円 | 256 千円 | 288 千円 | 274 千円 |

## 2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 【誰、何が（対象）】 | 町内漁業者 | 望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標） | | |
| 【抱える課題やニーズは】 | 燃油高騰等により漁業経営が悪化している。 | 融資件数 | | |
| | | 指標（指標計算式／解説） | 目標値及び実績値 | |
| 【どのような状態になることを目指したのか（意図）】 | 資金借換を融通する金融機関に利子補給を行い、漁業者の資金繰りを円滑にする。 | ① 融資実行件数 | 目標年度 | 22年度 |
| | | | 目標値 | 17 件 |
| | | | 実績値 | 17 件 |
| | | | 達成度 | 100.0 % |
| 【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的 | 町内漁業者の経営の健全化 | ② | 目標年度 | |
| | | | 目標値 | |
| | | | 実績値 | |
| | | | 達成度 | % |

| 内容（どのような手段で何を行ったか） | |
|---|---|
| 利子補給金の支出 | 借換資金の融通を行った金融機関に対し利子補給金を支出した。（1金融機関　17件分） |
| | |
| | |

## 3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

| | | |
|---|---|---|
| 必要<br>必要／概ね必要／課題あり | □義務的なもの<br>□全部<br>□一部 | 本事業については、国の漁業緊急保証対策事業を活用し、道、漁業団体（信漁連）も利子補給を行っており、漁業経営の早期健全化を促進するため、町も支援する必要がある。 |

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

| | | |
|---|---|---|
| 有効<br>有効／概ね有効／課題あり | 設定した目標値の達成状況<br>■達成<br>□ほぼ達成<br>□下回る | 漁業経営健全化計画について道からの認定受けた17漁業者が資金借換を行い経営の健全化を図った。 |

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

| | | |
|---|---|---|
| 効率的<br>効率的／概ね効率的／課題あり | 判断の理由<br>□事業費抑制<br>□人員削減<br>□時間短縮・作業軽減<br>■その他 | 雄武町漁業経営健全化促進資金利子補給金交付要綱に基づき、道の利子補給率と同率の補給をすることとしている。 |

(4)事務事業の公平性

| | | |
|---|---|---|
| 公平<br>公平／概ね公平／公平でない | 判断の理由<br>□受益者負担がある<br>□受益者負担がない<br>□受益が一部に偏る<br>■その他 | 燃油高騰等により漁業経営が悪化している漁業者に対する緊急的な支援措置であり、公平性が保たれている。 |

## 4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

| 自己評価（一次評価） | 評価会議評価（二次評価） | 町長評価（三次評価） |
|---|---|---|
| A | | |
| 燃油高騰等による緊急対策事業であり、低利借換資金により債務負担軽減を図ることは有益である。 | | |

今後の展開方向
(Action)

| | | |
|---|---|---|
| 継続／現状維持 | | |
| 平成22年度緊急対策事業のため、新たに借入を行う漁業者はいないが、返済完了まで引続き利子補給を行う必要がある。 | | |

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

## 5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）